

おはようございます



JAみなみ信州 農産物直売所
りんごの里 店長 水野 克之

りんごの里は中央道飯田インターを降りてすぐあり、地元の方をはじめ観光客の来店も多く、新鮮な農産物はもちろん地元の土産品や加工品も豊富に取りそろえています。曜日別特売や野菜苗販売、めだかすくいなどさまざまなイベントも行い、生産者と一緒にお客様と一緒に楽しんでいただける店舗づくりに取り組んでいます。地元の魅力いっぱいのりんごの里にぜひ立ち寄りください。

健康 Q & A

脂肪肝と診断された

Q 人間ドックの超音波検査で脂肪肝と診断されましたが、軽度の異常という判定で、治療の必要性はないという結果でした。職場でこのことを話題にしたら同僚の中に、肝硬変にならないために脂肪肝の治療を受けているという人がいました。このまでよいのでしょうか。

(42歳、男性)

A 肝臓に5%以上の脂肪が蓄積した状態を脂肪肝といいますが、超音波検査で明らかな脂肪肝と診断されるのは脂肪の蓄積が30%以上とされています。脂肪肝はアルコール性と非アルコール性に分類されてきましたが、欧米を中心に「非アルコール性」という用語は差別や偏見にあたるとして「代謝性」という表現に変えていこうという提言があり、日本肝臓学会もこの動きに賛同する方針です。

脂肪肝の多くは非進行性ですが、高血圧症・高脂血症・糖尿病もしくはその予備群・高尿酸血症などを伴いやすく、これらの治療が必要なケースが少なからず存在します。また、何らかの原因で脂肪肝が脂肪性肝炎に変化すると肝臓の線維化が進み肝硬変や肝癌に進みやすくなってしまいます。さらに心筋梗塞や脳梗塞といった心血管系の病気のリスクも高まります。

具体的には超音波検査で脂肪肝の所見があつても、肝機能の項目のうちALTの数値が30 IU/mL以下であれば肝臓病に関してはほぼ心配はありませんが、31 IU/mL以上の場合は専門機関での精密検査をお勧めします。

(JA長野厚生連長野松代総合病院
消化器内科部長 新澤真理)

肝機能の数値（ALT）を目安に精密検査を

私たちの国で消費するたるもの
ができるだけこの国で生産する
国消国産にJAグループは
取り組んでいます



食と農で地域に笑顔をつくります
～次代につなげる農業・組織・経営基盤の確立

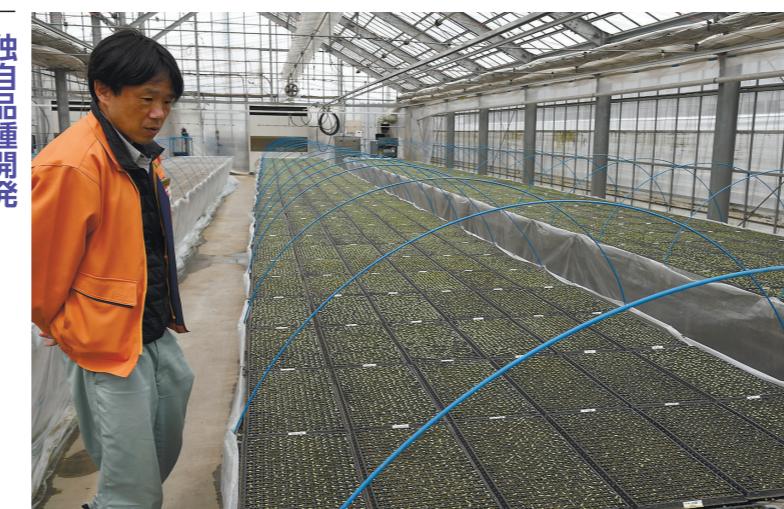


100%共選共販の団結力

JA上伊那花き部会



出荷時期拡大 アルストロメリア栽培では管に冷たい水を流して地温を下げる地中冷房システムが活躍。出荷期間を大幅に拡大している



独自品種開発
トルコギキョウの苗箱が整然と並ぶ農事組合法人「いなアグリバレー」の育苗ハウス

主力品目となるアルストロメリアは低温を好むため、地中冷房で夏場に株を冷やすことで出荷期間を大幅に広げることができます。同JAは、この技術を積極的に取り入れ、それまで4、5月に集中していた出荷時期を10月ごろから翌年5月までに大幅拡大しました。

苗は輸入になりますが、毎年、先進のオランダに生産者やJA職員を派遣し、情報収集に当たっています。同時に、地域に適する品種を選ぶ

一方、トルコギキョウでは地元に育種技術を持つ農家があつたことから独自品種による産地形成を進めています。1998年には部会員とJAの出資で苗を生産する農事組合法人「いなアグリバレー」を設立。生産者自身が種をまいて苗を供給する体制を築きました。

こうした生産体制を整えた

ため、部会で地元に2カ所の試験圃場を構え、栽培データを収集し、生産安定に努めています。

一方、トルコギキョウでは地元に育種技術を持つ農家があつたことから独自品種による産地形成を進めています。1998年には部会員とJAの出資で苗を生産する農事組合法人「いなアグリバレー」を設立。生産者自身が種をまいて苗を供給する体制を築きました。

こうした生産体制を整えたため、酒井さんは同花き部会の一一番の強みは「100%共選共販による団結力」にあります。

一方、トルコギキョウでは地元に育種技術を持つ農家があつたことから独自品種による産地形成を進めています。1998年には部会員とJAの出資で苗を生産する農事組合法人「いなアグリバレー」を設立。生産者自身が種をまいて苗を供給する体制を築きました。

「共選共販として出荷規格に基づき一定の品質の花を、まとめて安定的に出荷できるようになりました。市場から信頼も得て、有利販売につながっています。種苗や資材の共同購入でコストを下げる一方、品目ごとに専門部会・研究会をつくり品質向上に努めていることは言うまでもありません」

昨年度の日本農業賞（第53回）ではJA上伊那花き部会が集団組織の部で優秀賞に輝きました。切り花生産量日本一を誇るアルストロメリアとトルコギキョウを柱とする同部会の強みはどこにあるのでしょうか。受賞時の部会長、酒井弘道さんに聞きました。

品質を保ち安定的に供給

*¹花の共選共販 農産物の出荷形態の一つ。個々の農家がそれぞれ選別して個人名で出荷するのが個選個販に對して、部会で一定の出荷規格を決定し、それに沿って個人で選別しJAなどを通して共同で売るのが共選共販。それにメリット、デメリットがあります。



大きく育ったアルストロメリアに目をやる酒井弘道さん（上）。冬場の暖房はヒートポンプが活躍する（下）



向いて力を合わせている成果です」と強調します。

若手が業界活性化

協同の力で

***²「コロナ下の花き購入運動**
新型コロナウイルス感染症の拡大で花の需要が落ち込み苦境に陥った生産者を支援するため、2020年3月から21年4月にかけて「県産花き一人一束運動」と銘打ち、JA全農長野やJA長野中央会などで組織するJA長野県農政対策会議が長野県とともに展開。品目ごとに購入を呼び掛け、アルストロメリアは20年3、4月と21年1、4月に実施しました。

その強みを実感したのはコロナ下の販売支援

新型コロナウイルス感染症の拡大で花の需要が落ち込み苦境に陥った生産者を支援するため、2020年3月から21年4月にかけて「県産花き一人一束運動」と銘打ち、JA全農長野やJA長野中央会などで組織するJA長野県農政対策会議が長野県とともに展開。品目ごとに購入を呼び掛け、アルストロメリアは20年3、4月と21年1、4月に実施しました。



こうした若手生産者の活動はJAの枠を超えて全国に広まっています。

農家の品評会「信州フラワーショー」で開くフラワーアレンジメント教室といった関連イベントを支える貴重な力となつており、花き業界活性化の一役を担っています。部会の中では女性が集まって独自の花場視察や研修活動も企画されており、青年部の活動とともに部会の活力を示しています。

JA長野中央会 営農農政部

〒380-0826 長野市北石堂町1177-3

TEL.026-236-2030 FAX.026-236-2008

いいJAん! 信州

<https://www.iijan.or.jp/>



長野県のおいしい食べ方

公式X(旧Twitter)

